（廿四日夕刊）

磐城新聞

休刊 第一第三日曜
定價 壹枚二錢、壹ケ月五十錢、郵稅十錢
廣告料 （線報欄行五十錢 場所指定二十錢增）
發行兼編輯印刷人 遠沼龍輔
發行所 福島縣平町田町拾六 磐城新聞社 電話五六四番

卒業生の爲めに

平第一小學校長 曾我直治

今春學校を卒業なさる方は、或る級の學校に進み或は職業に就かるゝのでありますが、それは皆さんにとつて一生涯に於ける重大なる運命の分岐點であるのであります。殊に卒業後直ちに職に就かれる少年諸君は、上の學校へ行く人が勉強すると同じやうに職業の事について眞面目に考へ、その方の勉強を一生懸命になさらなければなりませぬ。ところが世の中には一生懸命に職業の勉強をして居てさへ中々落第する人もある位でありますから、職業に落第しない樣にその上成功しやうとするのには餘程の心掛がなくては到底出來ないのであります。

全國の卒業者百人であるものが、卒業當時に於て六十四人は轉職するといふことです。これは吾人に何を敎うるか、素質なきものゝふじて入學はせぬか。力を省みずして入學はせぬか。身体が虛弱ではなかつたかといふことなどを考へさせられます。

又最高學府の敎育を受けた數千の大學卒業者が社會の實務に就くことが出來ず所謂就職難に悩むべき社會事象、議論しつゝあるは吾々に何を語るものであるか。これは大學に學べば何にでもなれるといふ考を、勤勞を厭ふといふ惡い習慣があるからではないでせうか。

一、職業に從事したものが更に幾度か轉職し又は失職するのは何の爲めか。それは或る職業に從事するも其の種類、その性能資質に適しないで。かくの如き憂ふべき事態を惹き起つたではないかと思はれます。

人々は誰しも生れつきの特質といふものがあり、得手、不得手と云ふものがあります。又人々は皆異つた依賴を持つて居るのであります。そこで不得手の仕事や体格に適しない職業につく者は他の人よりも餘計に骨を折つても、餘りよい成績が得られないのみならず終には落第してしまふ事になるのであります。しかるに一度び得手の仕事や体格に適した職業を選び眞面目に働いたとしたならばひとよりよい成績が得られるばかりでなく一生出世の基となることは實に明なことであります。

前の米國大統領ガーフキールドが少年を戒しめた金言に

「屋上に落つる細雨を見よ其の北側に落つるものはセントローレンス灣に注ぎ、南側に落つるものはメキシコ灣に潮す。然り而して南北千里の遠きに至るも其の初めは只寸分の差ありしのみ。微風の一搖飛鳥の一搏以て二水の運命を決するに足る。少年諸子の生涯も亦之に等しきもの無からんか」

云々

實にその通りです、皆さんの一生涯に於ける成功と不成功とは實に最初の職業の選び方の如何にあるとしたならば皆さんは何をたいふ職業の撰を眞剣にお考へにならなければなりません。適材適所といふ事は個人的にも國家的にも極めて必要なことであつて、各人が各自の素質個性に應じて之に適した職業を選定して之に從事するといふことは個人の幸福であり、個人の集合である所の國家の幸福であります。どうぞ此點に留意されて最善の方法を講ぜられんことを切望いたします。

明日の吉凶

舊曆二月三日 新曆三月廿五日

▲一白 和合はありとて福德には至つて緣の薄き日▲二黑 先見の利かぬ日新規の事には手を出すなかれ▲三碧 働き甲斐の現れ來る日午前中が尤も吉なり▲四綠 空景氣のみ強くして割合に當收の少き日▲五黃 與商に物の挾まりたる如き感じの生ずる日▲六白 表面幸福の如く見へて秩序亂れ勝なり注意▲七赤 社交上の事は勿論日常の小事も緊縮が肝要▲八白 調子かで乘り過ぎて失敗を招き易し自重第一▲九紫 陣容を整へ自重して進む時は意外の効あり

講談

闇に閃く男達

(47) 高田浪川作 尾崎雪鷹畫

黑狐を殺す

秋月大八郎と名乘る浪士は何も言葉を和げた

「上役の者と意見合はず主家を退散し長岡に知人を訪うて江戸へ參らんとする途中であつた、品川には少し身寄りの者がゐるそれと相談して江戸で町道場を開きたい考へである、町人失禮ながらお前は何商賣だ」

「ヘエ、誠に申しおくれて相すみません、私は小田原の本町に住居いたす大口屋銀兵衛と申し呉服商を營んでをります」

「それは／＼、この越後路へも商賣物の仕入れでござるか」

「ハイ、江戸の問屋で買ひますよりも産地よりの直き取引きが大分値安となり、ことにこちらには親せきもございますので」

「ア、左樣かな」

年齡は三十歳前後の武士だが頸輕で面白そうな人物である銀兵衛も苦勞人だから丁度言葉敵になつて旅が面白い、しかしいくら壯健とはいへ少しくたびれる武士の方は盛りの年殊に武藝の心得かあるから左程くたびれない銀兵衛がとかくおくれ勝ちになるを親切にいたはつてくれるから銀兵衛は大喜びア、いゝ人と道づれになつたと思つてゐる、やがて柏崎へ着き大和屋といふ宿屋へ一泊し、翌朝柏崎を後にし鯨波より米山四里の峠へかゝつた

「ア、これが越後街道で名代の米山峠といふのだな」

大八郎は言葉をかけた

「左樣でございます」

「米山藥師といふのはこの邊にあるのか」

「ツイ近うございます」

「ちよいと參詣をして參らうかな」

「御參詣なら、いつておいでなさいまし、私はさる年で少しでも脇道へ入るのが誠に大儀でこまります、本來ならば御案內をしなければならないのですが私は御免を蒙り、こゝに待つて居ります旦那樣だけ急いでおいでになつてはいかゞでございます」

「ア、左樣か、イヤ只參詣をしたいと思つただけで是非行かなければならないといふ譯でもないから行かないなら拙者もよさうよ」

「左樣ですか、どうも相すみません坂路は年寄りにひどく骨が折れまする」

「さうだろう、大分路がけはしいから……」

話し合つてる藤へガサ／＼ッと傍の藪の中で音がした、何であるかと二人は進みかけし足をとめ見る途端に藪の中から飛び出したは犬ほどの大きさある眞黒な獸である、二人の前をつき切らうとした所を秋月大八郎は右の足をあげてエイとけつたからころり倒れた起き上らうとするを早くも躍りかゝつて大八郎は南蠻鐵で親骨の出來てゐる鐵扇を取り出し彼の畜生の腦天をビシヤリビシヤリ二つ打つとギヤツといつて死ぬ、大力者に鐵扇で打たれたから腦骨が碎けたと見ゆる

「何だろう」

大八郎はその畜生の襟首を引つかみ差上げる樣にして見てゐた

「ア、これは黑狐だ」

「旦那樣、そのコクコとは何でございます」

銀兵衛は最初腰を拔さんばかりに打ち驚き大八郎の働きをあつけにとられ見てゐたが怪獸が死だから安心の胸をさすりながら聞いた

「イヤ黑い毛の生へてゐる狐、即ち黑狐だ」

「ア、黑きつねですか」

「左樣野ぎつね、黑ぎつね朱ぎつね白ぎつねなど〻きつねには色々の種類がある」

「眞黑でしたから本當にびつくりしました」

「畜生の分際として萬物の靈長たる人間を惑かすとは憎い奴だ」

「ネエ旦那、このきつねの皮で胴服をお作りになつては如何です、きつねの皮は大層寒さを凌ぐと申しますこれから追て寒空に向つて參りますに何よりかと思ひます」

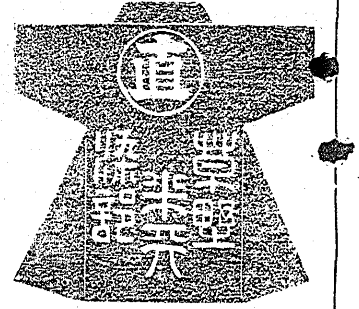
「デハ、拙者が一つこの黑きつねの皮をはいでやろう」

營業種目
內地材 材木各種、羽柄材各種 建築諸材請負 礦山用坑木其他諸材請負
外材部 米松、米杉、大角製材調達 請負 其他
佐藤材木店
常磐線平町 新川町 電話 三三五番

營業品目 絹糸、綿糸、紡績糸、染糸、組紐糸、漁網糸、入造絹糸、カタン糸、輸出用加工糸、與綿、其他糸物一式
東京市日本橋區通油町
株式會社 藤掛商店
糸界の羅針盤 糸組通報 御一報次第直送
電話浪花三五一番 振替東京三二四〇番
小店員募集
十五才以上十七八才迄 五名
小學校卒業程度御希望の方は磐城新聞社御出で下さい。委細面談

美味しいパンの製造開始
□今回東京より製パンの優秀技術者を聘しまして製造を初めました。
□プンとくる香り、ねも云はれぬ舌ざわり價に御滿足を得ることゝ思ひます。何卒御試食の程を願ます。
パンズ
糸巻パン
ヒ井ツシユパン
レモンパン
ハートパン
クリームパン
一個 五錢
あんパン 一個 二錢
マツモトヤ
平町四丁目電話二一四

良品廉賣に勝る商略なし
磐城平町五丁目
磐城セメント株式會社特約代理店
和洋銅鐵金物問屋 釜屋商店 諸橋久太郎
電話 九番 一三九番
振替貯口金座東京一〇九五六番
確實敏捷は(久)の生命なり

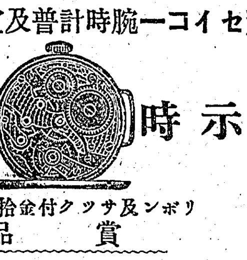


◎徒弟入用
徒弟契約ニ付テハ年明キニ際シ有利ニ御相談申上候
金牌一等賞受領
磐城國平町
草野染工場
電話三四八番

日東のラジオ
最新高級のラジオ製造販賣
並に部分品提供
當分の間奉仕的破格値段
三球セット取付共
A 百貳拾五圓
B 百 圓
C 七拾 圓
御用命次第店員をお伺ひ致させ懇切御相談に應じます。
平町白銀町
日東商會
電話四二八番

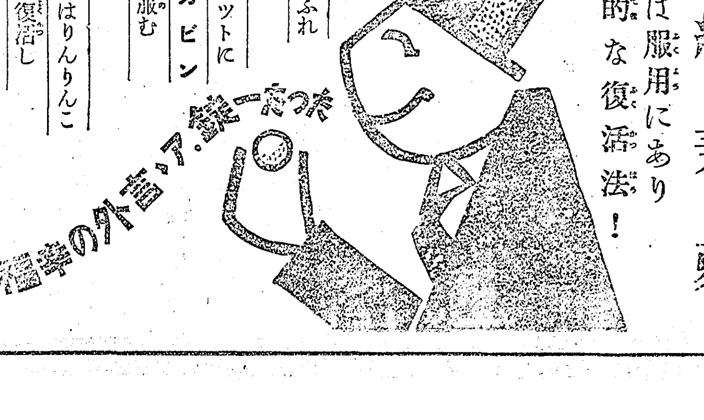
學生カバンと
學生帽子
平町四丁目
ツルヤ商店
電話四百四十番

丸形セイコー腕時計普及宣傳特賣
示時正確



賞品 リボン及サック付金拾三圓均一
賞品付セイコー腕時計大賣出し
期間昭和三年三月十五日より七月一日迄
一本も空籤なし
一等 金壹百圓（復興債券）五十本
二等 金五十圓（同）百本
三等 金拾圓（同）二百本
四等 金五圓（同）五百本
五等 精工舍製ニッケル丸形机上時計壹個 四萬九千餘個
賞金總額金拾萬貳千九百圓餘賣切ぬ內御早く御買上を乞ふ
特約發賣店
平町三丁目
大谷時計病院
電話一九番

生殖機能の悩み
神經衰弱
解決は服用にあり
素的な復活法！
雪よ、ふれふれ
風よ、吹け
我等がポケットに
トッカピン
朝服む、晩服む
晝も服む
其處で元氣はりんりんこ
生殖機能は復活し
神經衰弱すたこらさ……



一、生殖機能を旺盛にして健康精力の勇者となれ！
現代は生存競爭の激しい時代はない。激しい程の生活戰だ、弱き者は倒れて突潮せられ、強き者は益勝ちに目的に向つて邁進してゐる。此の激しい生活の戰に唯一の武器力は精力腦力であるが人間の精力腦力は生殖腺の內分泌機能が根源として生ずるものであるから、生殖機能が衰弱すると支離的に人間が勇氣を失ひ、決斷力が鈍り、グズ／＼の人となつて早老朽し、智能の衰えたる腦神經まで鈍くなつて、甚だしきは病的となつて、遂に廢殘者となるが、時勢しむべき生殖機能衰弱を復活し、精力腦力を具体的に鞏健化し、尚神經衰弱不眠症等をも驅逐して頭腦を明晰ならしむる代表的名藥として、今や潮に新藥たる『トッカピン』がある。はもとより健康男女が服用すれば或る大なる何物かを得たるが如き得も云はれぬ強味を體感し、益々腦力精力の充實を見るといふので、實驗界に一大センセーションを喚起してゐる。
精力を欲する男女
生殖機能衰弱の人
老衰不能を歎く人
神經衰弱、ヒステリーの人
等は即刻試みて、意外の効果を味ひ給へ。
ファスト曰く、我が欲するもの只黎霧のみと、名譽も金も、健康の前には、あまりに無價値である。須らくトッカピン服んで、健康精力の勇者となれ。

トッカピン
戸塚醫學博士推奬
藥價 三十錠 壹圓 五十五錠 貳圓
發賣元 丁子堂藥房
東京市銀座新肴町八 振替口座東京七二二一番 電話京橋一
大阪市西區新町通一丁目二 振替口座大阪一〇六番 電話新町長四五七番
◎全國到る處の藥店にあり
品切の節は發賣元へ直接前金注文＝送料不要＝代金引換・送料實費＝目立たぬやう送る

桜ヶ岡の花見に景氣を附け　危病神逃つ拂ひの策戰
先づ東部電が大變な馬力で　待たるゝ平の花見景氣

平町は櫻花ヶ崗　天然とうだ腸チブスが矢鱈早や襲來し一般の不況はさるゝたが年一回の賞へ時を當込んでゐる新田町花街　昨今は三味　音一つ聞えないさびれ方も料理店の女將、當屋の御亭達も方瘤を入れてゐるだけに甚　ショグ振りは

目に見ゆる様・庭に大小百三十の藝妓連に至つては松ヶ岡の花にも負けないで美しい裝ひ凝らし物言ふ花　咲きくらべをしようとばかり意氣込み不景氣の中にも苦しい矢理繰り算段をと折角出來上つた晴れの揃花見衣裳も此の分では着られぬ事やら着れぬやら疊んだり見たり仕舞つて見たり晉み一遍りでない氣をもんでゐるが天然とうも赤井の鎌倉キミが發生したのを最後にもう發生しな　いだらうと警察署でも見てゐるから愈々終熄期に入つたものゝ様だし更らに腸チブスは過所が地元の新田町だつただけに騒ぎ大きかつたので此れまた日ならず終熄するだらうし日増しに膨んで行く櫻の蕾みが綻び初める頃までには大地も破れる様な花見景氣が出現するだらうと觀られてゐる花の松ヶ岡を彩る優雅な雪燭や色提灯も例年ならば平消防組が奔走するのだが今年はまだ何んの噂さも出ない處を見ればどうやら

沙汰止み　になるのだらうと見てゐる向もあるが今年から東部電力平營業所が直接にやり大いに犧牲を拂つて景氣直しをしようと武田所長は昨二十三日午後伏見町長と會談し下相談をしたが今年は去年よりズツと增して千五百燈までの準備があるから大々的に公園全山をして不夜城たらしむる意氣込みであり例年により四月十三、四日頃から十日間位を賑かならしむべく目上準備中であるから今年は昨年以上の花見氣分が横溢するだらうと觀測されてゐる

切つた竹から　感電即死　今日赤井の椿事

赤井村大字鹽田農會川正行(三)は今廿四日午後二時頃同村地内の山林中に外數名と共に竹切りに行つての歸途僧いでゐた竹が高壓電線に觸れたため眞黒となつて感電即死した

的てが外づれて　酒造家共弱り　御大典や總選擧の當年　相場激落に惱む

石城郡地方に於ける酒造の狀况を見ると前年に比し本年は總選擧および御大典などの關係もあるのに總じて減釀を見込まれてゐるのは酒造界近年の不况に鑑み中央會からしきりに減釀の勸告を發した結果であることは勿論であるが、一石當り生産費最　低七十圓に對し現在の桶賣一石五十圓といふ採算割れの慘狀をすくふものとしては僅五分六厘程度の減釀　左まで多くの期待はかけられない、酒造業者としては總選擧を見越して相當賣れるだらうと豫想したものがこゝ半年のうちに市價は反對に二割以上の激落を見せ期待は全然裏切られた形ちで、この上は一般景氣の立直りを待つほかはないのである、同時により以上の減讓をはかるのが當面の急務とされてゐるもしこのまゝの推移に任せると同業者のうちから倒産者を出すやうになることは必定で、地方の酒村を相手とする五、六百石程度の醸造家もその傳統の小範圍にける

需要者にしつかり喰ひ入つてゐるので、結局倒屋の憂き目を見るものは都市を相手に一千石ないし二三千石の釀造を續けてゐる中流酒造業者であらうといはれこれが對策につき關係筋ではより〱協議をこらしてゐる

大變成績のよい　少年の就職狀態　女子は虛榮がある　平紹介所多忙

平町職業紹介所では目下郡內各小學校や私立學校等の卒業期を控ね例年の如く少年少女の職業紹介に頗る繁忙を極めてゐるが本日までに同所宛て紹介を願出た少年少女の數は八十三名の多きに達して此の中四十五名は既に各々〱希望の職業に就　く事が出來るなどなり頗る好成績を示してゐる昨年の取扱數四十名に比較し倍以上の申込數のあつた事は不景氣の深刻化と共に地方少年少女の職業的に目覺めて來た事を物語るもので同紹介所係員は「少年の職業取扱を始めてから三ケ年になり逐年希望者が增加して來たが其れでもまだ當紹介所を營利業者の樣に考へてる傾向があるのは遺憾です申込者中の大半は志望の方面に就職出來る筈ですが志望者の色別を見るとどうしても東京の三越とか松坂屋と言ふ大商店の少店員希望者が多く地方は案外に少く女子の志望はた定りの電話交換手とか見習看護婦で各れも職業婦人として生きて行くのには好職業だが幾分虛榮を含んでゐるのではなからうかと思はれる」云々と語つてゐた

草野氏回復

磐城銀行支配人草野順平氏は二三日來風邪の氣味にて自宅に引こもり靜養中の處回復したのでけふから平常通り出勤した

福島炭礦の　機械場燒失　損害一萬餘圓

赤井村大字西小川福島炭礦の機械場から昨廿三日午後七時十五分頃突如發火し忽ち同機械場と隣接してゐる木工場其の他四棟を一瞬の間に燒盡して同七時五十分鎭火した發火の原因は機械場のストーブからとも又漏電とも言はれ不審の點があるので目下平署で取調中損害約一萬圓である

平陽卒業式　けふ午前十時から

私立平陽實科女學校今年度春季卒業式は今廿四日午前十時から同校講堂で盛大に擧行されたが各部卒業者は次の如くである

△女學部三年　新妻ふくよ、新妻美江、大友ふみ、大和田せつ子、奥せつ子、渡邊淑子、渡邊とく、加藤とみ、高橋みゑ、根本勝子、中濟紀代子、村山まさゑ、小林俊枝、佐藤英子、佐藤みさを、齋藤てる、宮本きく子、廣瀨芳子、茂垣壽子、鈴木雪子、樋口富美子

△技藝部高等二年　板橋すゑ、石山なつ、石塚とみ、花澤千代子、原中うめ、西山つるよ、栃本みきゑ、大須賀きだ、大谷まつよ、大山よし、渡邊千代子、金成とよ、加澤きよ、鎌田ふで、宍戸なみゑ、高崎きよ子、鷹崎みどり、高木こと、中野文子、中野美代志、山形千代子、松崎まき子、福田さだ、佐藤ゐさを、木田ふみ子、木村むね

△速成科　落合はる、大友みさほ、渡邊みつ、波邊はく、高橋はまよ、俵悦子、野木千代子、遠藤なほ、木村かや、油座はま、志賀みさを、關根さわ

平第一、第二　卒業式　けふ盛大に

平第一、第二小學校の今年度卒業式並に修業式は今廿四日午前九時から各校講堂に於いて來賓多數出席し盛大に擧行された

前景氣も豐かに　大敷網の準備　白井家は來月早々投網　小名濱豐間賑ふ

石城郡豐間村及小名濱町におけゐ大敷網漁業は今や地方の季節的重要產業となつて夏期中を通し同地一圓をにぎはしてゐるのでその漁獲成績の豐凶は直に地方の景氣を左右する程であるが今年も小名濱の白井家

大敷網は　來月早々投網すべく過般來靜岡青森秋田方面より雇ひ入れた數十名の漁夫により目下着々準備進行中であると同時に豐間村でも同様これが準備中で一擧數萬圓の巨利を博する大敷網の漁期を目前に控へた同地方はこの方面の資にあらざれば見られぬ處の一種異業の活氣に滿ちてゐる、而して昨年豐間村における漁獲高として所轄稅務署の調査したる處によれば總收入實に三十四萬圓小名濱同上五萬六千圓を注せられ漁獲上必要なる經費を控除するも豐間村昨年度の收獲高は優に六萬圓を突破し漁獲高五萬圓に對し五千八百六十五圓の稅金を賦課するので稅金だけでも

莫大な額　に達するわけである、殊に小名濱においては昨年の投網一條に對し本年は更に一條を增加するので隨つて漁獲高も激增し彼これ漁獲物の加工製造に從事する磐城水產工業會社の多忙その他今年は一段にぎはひを呈する事と想像されてゐる

明日休刊

天然痘の由來（中）　病氣の因は支那から　傳說その他の話

まだ食用の呪法があつた宮川舍漫筆・嘉永の流行時或人が或乞食に蕎麥を振る舞つたら禮にとて實は我は疫神であります。今流行の疫病は餡を食ぐればすぐに平癒いたしますと教へたまた同書の著者の父（志賀理齋（が兩國橋で一人の男の連れになつた。その男は犬が嫌ひだからどうか犬が吠えたら追つて貰ひたいと賴むから一緒に本所石原の向坂といふ千二百石取の旗本の前まで來るとイヤ有難うござる拙者はこの屋敷へ入ります實は疫神です、此所まで送つて頂いたお禮に疫病に罹らぬ法を御傳授します」拙者等の仲間は小豆粥を食べる家を嫌ひますから月に三日小豆粥をたゐがりなさへと向坂の門を入つた果してその翌日同家中疱瘡に罹つたといふ奇話まで掲げてゐる。

また之を神に祀つてその暴威鎭を撫した事もあつたそれは朝野群載」に正歷五年六月安置疫神祀船岡山」とある。後拾遺集に載つてゐる藤原長能の和歌はこの奉納歌である

今よりは荒振心ましますな
花の都にやしろさだめつ
白妙の豊みてぐらをとり持て
いはひぞ染むる紫の野に

とある「御神名を牛頭天皇と稱して居る。後年「ほうそ繪」と稱するまちないの繪紙に子供が牛に乘つて槍で疱瘡神を追散らすのがある。即ち牛頭天皇の意なのであるアノ「蘇民將來」の神符も民を蘇らせ將に來らんとすと云ふのである。

●疱神の入門を避けるまちないとして門口に蟹の甲殼や蒜を吊す法もあつた、之は夢織筆談」の關中蟹なし秦人が蟹をなつて來たら土人はその奇狀に畏を爲し癩を病む者があれば之を借て來て門に吊したといふ故事から來たもので蒜はどういふ故か不明であるが、尙八犬傳や弓張月から出に迷信金腕八郎が蟹を食べて「もがき」の療つた話や、爲朝を追返した記述から出た迷信である

如逃疱瘡　神といふ惡鬼の祟りとばかり迷信されて牛痘から發明した種痘法が嘉永二年に傳來して以來、官民共にこれが種痘法を一般に普及すべくいろ〱の宣傳をやつたうち左は頗る要を得てゐるからちと長文ではあるが摘錄しやう。

疹瘡そうね初めしは唐土宗の仁宗の時なりと是は鼻に入るゝ法なり其外うえやう五つ通りあり牛痘法といふのは一番新しくすぐれてよろし。寬政年中おらんだにてイエンネといふ人初めて見ひらきたり其始めは牛の乳を絞る家かならず疱瘡する事なし不思議のことにおもひて牛の乳房を吟味せしに疱そう二三粒發せしあり其うみをとり小供の手にうつし見るに其手にのみ五六粒できて外へ出ることなし其時又人の疱そうを其の子にうゆるといへども發することなし之よりおらんだ中この法ばかりになりたり（中畧）世の中にこれほど尊き法なし夫ゆへこの疱そう種を四五年前よりおらんだ人自慢にて何よりのみやげとて度々持渡れども氣がぬけて用にたゝず漸く去秋大候のお骨折にて取寄せありて世にひろまりしは人の親の幸ひ子たる者の仕合せ此上やあるべき世の人よく迷ひを去りて早く安堵の思ひをなすこそ上なき幸ひならんかし

親の舌も拔けて樂むみどり子の
千代の命をむすぶたうとき

嘉永三戊年　桑齋主人

種痘をせぬ者は　罪金十圓に處す　定期種痘は二歲と十歲　當局の取締嚴重

石城地方の天然痘は縣民は何れも恐れをなして居り豫防のために種痘を行ふ人も決して僅少でない縣衞生課當局では前記の如く天然痘患者發生の折柄なので本年定期種痘は嚴重に執行する方針で既に縣下各地の定期種痘日割は決定發表されたが本年の定期種痘は一期二歲二期十歲兒であるが何等事情なく種痘をなさぬものは十圓以上の罰金に處するとなほ毎年定期種痘の際にはみだりに種痘をなさぬものが可なり少いのでこれ等のものは後日醫師に赴かせて種痘をなさしめて居つた右について當局では「本年の定期種痘は各地それ〱日割を定めて行ふが石城郡地方に天然痘患者が發生して居り定期種痘兒でなくとも一般の人々が自發的に種痘をして豫防して居る有樣であるからみだりに種痘せぬやうな不心得な親はないと思ふ、子供が可愛なら定められた日に種痘することを忘れてはならぬ」と語つて居つた

去年一ケ年中に　小名港の吞吐數　出入船一萬六千六百艘　商港實現を期待

石城郡地方は勿論本縣產業の開發を左右するものとして實現に縣が

大童の小　名濱港の商港計畫は不幸、政府が特別議會に追加豫算として國庫補助を提案せぬ為一ケ年延期となつたが、この問題の商港にたける昨年中の出入船舶、輸出入狀況を縣統計課で調査したところ目下の狀態では單なる避難港に過ぎぬ為その數字は全く寥々たるもので、出入汽船數貨物船二十五、演船五、避難船五十九計八十九隻

帆船では　發動船一萬五千二百九十五、漁船一千三百二十九計一萬六千六百一十四艘總計一萬六千七百十三隻でこの總噸數一十六萬四千八百三十二噸にのぼつた內最大汽船は松浦丸で三千百七十九噸、これを地府縣に比すれば問題にならないが更に移出入狀况を見ると輸出は東京方面で鮮魚介土砂石炭等四萬六千圓、移入は北海道方面から石炭鮮魚類六萬九千圓で是非とも商港の實現を要望されてゐる

松本パン好評　平町

四丁目マツモトヤ菓子店では美味と滋養とに富み常食の代用となるパンの製造に苦心し今回東京より優秀なる技術者を招聘し製造販賣を開始したがバンズ、糸巻パン、クリームパン其他一個五錢、あんぱん一個二錢と非常に好評を受けてゐる

磐崎村火見櫓　磐崎

村消防組では今秋の御大典記念事業として同村役場地內に鐵骨の火の見櫓を建設する事に決定したが工費約五百圓位いであると

公賣公告

石城郡四倉町字新町五二
當時東京市京橋區新肴町八番地
滯納者　菅波龜吉

公賣物件

石城郡四倉町字新町五二ノイ
一、宅地　百拾八坪
同郡同町同字同番地上
一、混凝土造　貳階付建家　壹棟
此建坪五坪　貳階坪五坪　造作付
同郡同町同字同番地上
一、木造瓦葺貳階付建家　壹棟
此建坪二拾六坪　貳階坪拾八坪　造作付
同郡同町同字同番地上
一、石造瓦葺貳階付倉庫　壹棟
此建坪七坪五合　貳階坪七坪五合　造作付

右國稅滯納ニ付前記財產昭和三年四月十日平稅務署ニ於テ入札ヲ以テ公賣ニ付ス買受望ノ者ハ當署ニ就テ詳細承合ノ上入札ヲ爲スヘシ

右公告ス

昭和三年三月廿二日

平稅務署長

醸造元　清世界
銘酒
各炭鑛御用達
石城小名濱町
清水屋
小野晉平
電話六番

鐵筋コンクリート
鐵骨組立
和洋建築
文化式建築
設計監督
土木、建築、請負業
合資會社
丸三森川組

熱海温泉都市株式會社
東京丸ビル三七八

內科、小兒科
花柳病科
入院應需
藤沼醫院
平町紺屋町
電話四五〇七番

片濱自動車運轉
平、高久、豐間、江名
停留所
一丁目小川屋、四丁目泉屋
新川町松崎硝子店、月見町白土屋
月見町一二三屋、江名山口屋
電話……二一七番
……一四二番
御三人以上はお迎ひに參上致します
平町四丁目和泉屋旅館前
鈴木
片濱自動車商會